

令和2年度 福岡大学附属若葉高等学校 学校評価

令和2年度の事業計画・事業報告及び自己評価 1

評価項目ごとに、反省・課題を確認し、目標と具体的取り組みに対する到達度を、管理職・業務担当者が4段階（A～D）で評価したものです。

令和2年度の取り組みとまとめ及び自己評価 3

評価項目ごとに、反省・課題を確認し、目標と具体的取り組みに対する到達度を、管理職・業務担当者が4段階（A～D）で評価したものです。

令和2年度の事業計画・事業報告に対する学校関係者(保護者)評価 7

各評価項目についてご意見をいただき、その到達度を4段階（A～D）で評価していただきました。本校生徒の保護者による後援会の会長・副会長ならびに評議員の皆さまに評価を依頼し、31名の方から評価をいただきました。

令和2年度の取り組みに対する学校関係者(保護者)評価 9

各評価項目に関するご意見をいただき、その到達度を4段階（A～D）で評価していただきました。本校生徒の保護者による後援会の会長・副会長ならびに評議員の皆さまに評価を依頼し、31名の方から評価をいただきました。

到達度評価

- A：目標に十分到達している
- B：目標到達にいま一歩である
- C：目標到達に一層の努力が必要である
- D：目標到達には程遠い

令和3年6月

学校法人福岡大学 福岡大学附属若葉高等学校

福岡大学附属若葉高等学校 令和2年度の事業計画・事業報告及び自己評価

評価項目	事業計画	事業報告	自己評価
生徒の 受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者の安定的な確保 校内生活における安心・安全を確保するとともに、入学者の満足度を高め安定した入学者数を確保するため、現校地の施設・設備の老朽化や狭小に伴う諸課題への対応に関する年次計画を策定し、喫緊の課題については年度内に着手する。 ・ 入試広報の強化 中学校や塾への訪問活動、中学生や保護者に対する説明会・体験入学(オープンキャンパス)等について実施回数や内容を見直し、充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者の安定的な確保 入学者の安定的確保の大きな要因となる学校の魅力向上、教育環境の整備については、「若葉高等学校教育環境整備部会」での検討を開始した。なお、緊急性が高かった講堂兼体育館の外壁補修や大通りに面したテニスコートの防球ネット嵩上げ工事を実施した。また、使用頻度が高いトレーニング室を5か年程度で整備する計画を進行中である。 ・ 入試広報の強化 新型コロナウイルス感染症の影響により、特に説明会や体験入学等の行事を制限せざるを得なかったが、オンラインでのオープンキャンパスや校内で開催した体験入学等では新たな工夫を凝らし実施した。 	B
教育課程の 充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高大一貫教育の推進 大学入制度試改革に伴い、特に推薦入試に求められる小論文や学力検査への対策を講じる。また、「学力の3要素」の伸長を図るため、福岡大学との高大一貫教育プログラムの検証・改善を行うとともに、大学で学ぶ上での基礎学力の一層の定着を図る。 ・ グローバル教育の推進 グローバルコースの取り組みをさらに充実させるとともに、可能なものからスーパー特進・高大一貫コースに拡張・展開する準備を進める。さらに3校目の海外交流協定校の確保、交流協定校派遣生徒の増加(5人増の20人)、交流内容の充実、教員の長期海外研修派遣及び外国人留学生の受入れ(4～6人)等を実施する。 ・ アクティブ・ラーニングの推進 ICT環境を年度中に全教室に整備する。また、校外での教員研修(ICT活用教育やアクティブ・ラーニング等)を実施し、全教員の半数以上がICT機器を活用したアクティブ・ラーニング型の授業を実践する。 ・ 正課外教育の充実 男女共学化に伴い制定したスポーツ・文化活動行動規範や校友会制度を検証し、正課外活動をより充実させる。また、新たに設置した部活動の十分な活動場所の確保及び強化を図る。 ・ 教育環境(施設・設備)の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高大一貫教育の推進 附属推薦における要件変更に対応するため、従来の教員指導に加え、1年生から新たな小論文指導講座を開始した。また、課題研究や修学履歴の記録に加え、基礎学力の伸長のための模試対策講座や附属推薦合格後の教科課題等に取り組む登校学習を実施した。 ・ グローバル教育の推進 新型コロナウイルス感染症の影響により、語学研修や協定校との交流、新たな交流校の確保等はできなかった。これに代わるものとして、規模を縮小し、感染予防対策を講じた上で、1年生を対象とした語学セミナー(校内でのウィンターキャンプ)や2年生を対象とした語学研修(英会話学校による語学研修)を実施した。 ・ アクティブ・ラーニングの推進 全教室のプロジェクター設置が完了し、すでに全教員へ配付していたタブレットの活用が進み、多くの教員がICT機器を活用したアクティブ・ラーニング型授業に取り組んだ。 ・ 正課外教育の充実 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの正課外活動が制限されたが、令和元(2019)年度に発足した校友会制度は問題なく機能している。また、部活動については、大学との連携のもと練習場所を確保し、活動の強化・推進を図った。 ・ 教育環境(施設・設備)の充実 教育環境の維持、充実を図るため、計画的に教室の床の整備や机・椅子の入れ替え、教室の空調設備の入れ替え等を実施した。 	B

	生徒数増加に伴う教室の整備・改修や生徒の利便性、教育効果向上のために不可欠な施設・設備の充実を図る。		
進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導の充実 <p>福岡大学との高大一貫教育の中で、新たな大学入学者選抜の導入に対応した進路指導を行う。また、進路指導担当や3学年担当教員を各種セミナーに派遣し、適切な進路指導計画を策定するとともに、一定レベル以上の大学の指定校推薦枠を確保するため積極的に大学訪問を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導の充実 <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、教員の研修参加がオンラインに限定されたが、参加した研修の内容は、校内での共有を図った。また、大学訪問についても困難であったが、電話や文書による依頼や情報交換等を行うことで推薦枠の確保に努めた。</p>	B
新型コロナウイルス感染症への対応等	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に策定していませんでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い右記の対策事業を講じました。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染防止のための飛沫対策板の設置 <p>大学のものづくりセンターの協力も得て、フェースシールドや飛沫対策用のボードを作成し、フェースシールドを配布するとともに、食堂、玄関応接ロビーをはじめ面談を行う場所等に飛沫対策用のボードを設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ感染防止のための教室等の消毒 <p>アルコール消毒液や次亜塩素酸水溶液による教室やトイレ等の消毒作業を実施した。陽性者発生時には、専門の清掃会社に依頼し関係個所を入念に消毒した。</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ感染防止の休校措置に伴う学習支援策の実施 <p>コロナ感染防止のための休校措置期間中における生徒の学力維持、向上をはかるため、学習支援策の一環として、授業支援クラウドアプリ(ロイロノート)を活用するとともに、全生徒がインターネットを使用したオンライン講座(スタディサプリ)を無料で視聴できるようにした。</p>	B

福岡大学附属若葉高等学校 令和2年度の取り組みとまとめ及び自己評価

評価項目	目 標	重点項目	まとめ(反省・課題)	自己評価
教 務 学習指導	<ol style="list-style-type: none"> 1. 時間割作成、毎日の授業管理、定期考査の実施と成績管理など教務の基本的業務内容を円滑かつ確実にこなす。 2. 学習環境を整え、生徒の学ぶ意欲を高める。 3. 生徒の主体的・協働的・探求的な学びのため、アクティブ・ラーニングや ICT 教育を取り入れた授業を積極的に展開し、基礎学力の向上を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 将来の職業を意識して学習目標を設定し、その実現のために毎日こつこつと取り組ませる。(継続的な学習習慣の確立) 2. 新しい学力観・新学習指導要領を研修し、教員の資質向上に努める。 3. 教員が「分かりやすい授業」の研究に努め実践する。その際にアクティブ・ラーニングの手法や、ICT を積極的に活用する。 4. 学力の定着度の確認はもとより学力の伸長を備えた考査問題を作成する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 煩雑な教員業務の効率化と各分掌間の連携を図り、更なる教育力向上につなげたい。 2. スーパー特進コースの土曜 4 限授業を見直し、次年度以降は平日 2 日の 8 限授業を実施することを検討する。 3. アクティブ・ラーニングは、感染症拡大防止の観点からの制約もあり十分推進できなかったが、休校中にはロイノートを利用するとともに 2 学期には全教室にプロジェクターとスクリーンを設置され、授業の ICT 化が進んだ。各教科の授業研究では積極的に ICT 機器が使用された。なお、ICT 教室の iPad 等の管理に改善が必要である。 4. 今年度からシラバスの電子化を行い、ホームページからパスワードを入力することによって閲覧できるようになった。 	B
進路指導	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多様化していく入試状況に対応しつつ、その後の変わりゆく社会で生き抜く力を養う。 2. キャリア教育という観点から生徒一人一人に対してきめ細かな進路指導を行い、コースのコンセプトに基づいたそれぞれの目標とする進学先の合格を目指す。 3. 現役による国公立大学の合格者数 20 名、及び難関私大への合格者を増やす。また、全体的には福岡大学を含めた四年制大学への進学率増加を目指す。 4. スタディサプリ、外部試験等を利用して、小論文等の書く力を養成する。 5. 大学入試等で必要になるであろう英語外部試験、数検、漢検等の資格取得を促す。 6. 新規大学指定校推薦枠の獲得と既存の指定校枠を拡充する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入学だけを目的とせず、正しい職業観を育成し、目標に向けて学習意欲が向上するようなキャリア教育を計画的に展開する。 2. 進路実現を目指す上で必要となる情報を常に発信し、適切な時期に適切な内容の進路ガイダンス、講演会を計画的に実施する。 3. 進路決定に必要な基礎学力、及び応用力を養成するための課外補習を計画的に展開する。また、校外模試の計画的実施とその結果分析を活用し、さらなる学力向上を図る。 4. これまでの実績評価に基づく指定校推薦枠の設定とは異なり、今後の本校の在校生の伸びしろに着目した指定校推薦枠を獲得する。 5. 国内の主要な大学との結びつきを強め、本校が取り組んでいる高大一貫教教育の価値を伝える。 6. グローバル教育との連携を図り、海外の大学の指定校推薦枠を獲得する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小論文指導については、教員指導に加え、予備校や業者による専門的な小論文指導を長期にわたって実施していきたい。 2. 課外補習(一貫コース)の見直し 現在、一貫コースの課外補習は 2 年生において、国立選択、福大進学、基礎と 3 つに分けて実施している。妥当な目標を設定し、生徒が課外を受けて成績が上がったという実感が持てるような指導が必要である。また、3 年生の課外のあり方についても実施科目や科目数等の早急な検討が必要である。 3. 煩雑な進路指導業務を簡略化して、学年全体で業務にあたるようにする必要がある。 4. 大学入試を取り巻く環境は、コロナ禍に加え大学入学共通テストの実施をはじめとする大学入試制度の変更など以前にも増して不安要素が多い。そうした中で一般入試での合格を勝ち取るための学力向上のための取り組みを一層強化することが急務であると同時に推薦入試への対応も必要である。とりわけ関東関西の大都市圏の難関私大への進学ニーズに応えるための大学指定校推薦枠の新規獲得の業務は継続して行うことが望ましい。 	B
生徒指導	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な生活習慣を確立させる。 2. 自尊感情を高めるための諸活動(生徒 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の規則の遵守、礼儀やマナーを大切に行動習慣を確立する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自転車乗車マナーの改善を図る。(免許制度を導入してはどうか? 減点が多くなると一定期間の乗車禁止。免許停止になると自 	B

	<p>会・行事・常時活動等)を活性化させる。</p> <p>3. 問題行動・規則違反等を未然に防ぐ為に、日常の生徒指導を徹底すると共に、教員間の連携を更に深める。</p>	<p>2. 情報モラルを高める活動を推進する。</p> <p>3. 生徒会・専門委員会等を通じ生徒の主体的な活動を活性化させる。</p> <p>4. 学校・学年・学級のリーダーを育成する。行事への生徒の主体的・意欲的参加を促す。</p> <p>5. 学校外や地域への積極的貢献を発信する。</p> <p>6. 生徒指導に対する教員側の姿勢・取り組み・考え方の浸透を図る。</p> <p>7. 挨拶・清掃活動を徹底する。</p>	<p>転車通学禁止等の措置。)</p> <p>2. バス・電車、乗車マナーの改善を図る。</p> <p>3. 転学者・退学者が激増したことから、原因を究明し減少に向けて学年・担任だけでなく全職員であったる。</p> <p>4. 盗難・SNS の不適切使用等で深刻な問題行動が複数件起こってしまった。予防策を徹底したい。</p> <p>5. 教員の理解を進め、生徒指導や風紀検査での基準の平準化を図る。</p> <p>6. 学年と生徒部のさらなる連携を図る。</p> <p>7. 生徒及び教職員の挨拶の励行を図る。</p> <p>8. 担任・清掃担当教員の清掃指導を徹底する。</p> <p>9. 登校指導等、教員の協力体制を構築する。</p>	
<p>中途退学 及び いじめ防止</p>	<p>1. 中途退学者の減少を目的とし、生徒個々の状況を共通に認識することにより、早期に適切な対応がとれるよう、学校が主体的に働きかける。</p> <p>2. いじめ事案の発生、及び発生が疑われる場合は「いじめ対策委員会」として問題に取り組む。</p>	<p>1. 情報を共有し、早期対応することで、転学・退学者を 0 にする。</p> <p>2. クラス担任、教科担任、養護教諭、部活顧問等、全ての教員が一生徒の悩みや障害にアンテナを張り連携・報告を怠らない。また担任は、若葉フォリオ、生活アンケートなどからの生徒のシグナルを見逃さない。</p> <p>3. 担任は不安な生徒の状況を学年主任に報告する。</p> <p>4. 家庭との電話連絡は、もちろんのこと必要であれば家庭訪問を迅速に実施する。</p> <p>5. 中学校との連携が有効と判断できる場合は、広報部担当と中学教員と連携を図る。</p> <p>6. 退学・転学等について事後報告になる前に広報担当は中学校へ状況報告を行う。</p>	<p>1. 情報を共有し早期に対応することで、転学・退学者を 0 にする目標を立てて令和 2 年度も全職員で取り組んだが、20 名程が進路を変更することになった。</p> <p>2. 転・退学の原因は心因性によるものが例年通り多いが、学校不適合や問題行動による退学者も出ている。</p> <p>3. 中途退学者や要観察者は例年 1 年生が多いが、今年度は比較的少なかった。</p> <p>・ 課題として、管理職・学年・各教員が、十分に対応できていたのか反省する必要がある。今まで以上に生徒一人ひとりの悩みを引き出し、親身になって根気強く寄り添って話し、諦めず、原因究明や問題解決に家族・友人・他の教員の力も借りて努力し続けることが必要である。</p>	<p>B</p>
<p>保健指導 特別教育活動</p>	<p>1. 学校生活をより豊かで充実し活気あるものとする為に、学校行事への積極的な参加を促し、生徒主体の運営ができるように努力する。</p> <p>2. 運動部の更なる躍進と、文化部の活性化を図る。</p> <p>3. 健康の維持増進と疾病予防の大切さを理解させ、日々の健康管理の姿勢を育</p>	<p>1. 体育祭・文化祭等の実施について、早期に実施案を発表し活動に取り掛かる。また昨年まで以上に生徒中心の活動ができるよう教員は側面的に支援し、成功へと導く。</p> <p>2. 部・同好会活動の活動状況を調査し、活動が活発に行われているかを把握して是正をすすめる。全ての教員が、顧問・副顧問となるのが望ましく、継続的かつ安定的な活動・運営を狙いとする。</p> <p>3. 全生徒が各検診を受診し治療や再検査が必要な場合には</p>	<p>1. コロナ禍により、体育祭・遠足・芸術鑑賞など多くの行事が中止となった。文化祭については規模の縮小・感染症対策等を行いながら実施することができた。クラスマッチも一部の学年で実施することができた。</p> <p>2. 部活動ではインターハイ・国民体育大会など多くの大会が中止となった。また、2 度の緊急事態宣言の発出などにより活動にかなりの制限のある一年となった。部・同好会の加入率は 70%であった。</p> <p>3. 各保健関連の検診は日程調整を行い、2 学期までに全て終了する</p>	<p>B</p>

	<p>成する。</p> <p>4. 部活動への加入者が有意義な活動ができるように努力する。</p> <p>5. 火災・地震等の緊急災害時に冷静に判断し安全に行動できる訓練をする。</p>	<p>速やかに医療機関等を受診することをすすめる。(未治療者へのオリエンテーション等の継続)</p> <p>4. 「保健だより」(保健委員会活動)等を通して健康への関心を高めさせる。</p> <p>5. 防災訓練を通して、生徒・教職員共に防災意識を高めさせる。また、教員向けの防災研修を実施する。</p> <p>6. 各部署より出された反省・課題を検証し、改善を行う。</p>	<p>ことができた。「保健だより」や職員朝礼を通して感染症等の予防を喚起した。なお、目・歯の未治療者へのオリエンテーションは実施できなかった。(完了率:視力 43%、う歯 10%)</p> <p>4. 防災訓練は 10 月の1回のみ実施した。今年は、本部教員の役割確認を中心とし、生徒は実際に避難せず、教室で地震発生時の留意点の確認・映像教材の視聴により防災意識の向上を促した。</p> <p>5. 今後の課題として以下の諸点があげられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全般的に共学化・生徒数に応じた活動の改善をはかる。 ・ 体育祭のブロック数や種目(特に男子)、ブロックリーダーや運営等、生徒会を中心に生徒によって体育祭を作り上げる体制を作ることを検討する。 ・ 文化祭は各団体が円滑に準備を進められるように計画を立て、生徒会等と連携をとり、より一層生徒主体の文化祭となるように取り組みたい。 ・ 部・同好会については、適正数(顧問)・活動場所(学校施設)・活動時間などの課題がある。 ・ 保健指導については、全生徒が各検診を受診し治療や再検査が必要な場合は速やかに医療機関等を受診をすすめる(オリエンテーション等の継続)。 ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた学校行事の計画や環境整備を行う。 	
<p>国際交流</p>	<p>1. これまでの本校における国際教育の中で培ってきた経験を活かし、かつ新たな試みも加えて、グローバル(国際)コースを中心としながら本校独自のグローバル教育の推進を目指す。</p> <p>2. 教職員の共通理解を図りながら、学校全体にグローバル教育を横断的に展開していく。</p>	<p>1. SGH や IB 実施校の実践例を継続研究し、本校独自のグローバル教育推進の糧とする。(全校生徒に向けたグローバル教育に関する講演等の企画)(英語科と協力)</p> <p>2. 留学生受け入れ体制の充実を図る。</p> <p>3. 国際交流協定校(大韓民国仁川新岷高等学校)との交流の深化を図り、修学旅行時に訪問しているシンガポールをはじめとする海外高校との教育交流の推進、及び新たな交流校の開拓を積極的に行なう。</p> <p>4. 長期の個人留学や短期の留学体制を整え推進する。(高校留学説明会の実施等)また、私学協会主管アジア派遣受け入れ事業を中心とした公的な研修への積極的参加の呼びかけ、及び長期休業期間(夏季・冬季・春季)に実施しているホームステイプログラムの継続と充実を図る。(同時に本校独自のプログラム実施への取組み)</p> <p>5. 海外大学進学(留学)説明会の実施により海外大学進学に対する情報を提供し、推進する。(進路主任との連携による</p>	<p>1. 海外交流はコロナ禍のため国際交流協定校への派遣及び受け入れ事業、アジア派遣及び留学生(短期)受け入れ研修事業等はいずれも中止され、シンガポールとの教育交流の推進もできなかった。</p> <p>2. 国内での交流事業への参加は、グローバル人材育成キャンプ(宗像市)に 2 名参加、AIG 高校生外交官日本プログラム(2021/7/22～8/3:関西)に 2 名の参加希望者が出ている。</p> <p>3. ニュージーランドとオーストラリアにそれぞれ 1 名が個人で留学しているが、留学生の受け入れはなかった。</p> <p>4. 校内で台湾の大学進学説明会を開催した。</p> <p>5. 今後の課題は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外との教育交流を積極的に展開する(新たな交流校の開拓) ・ 仁川新岷高校(韓国)との長期的かつ継続的交流プログラムの検討(オンラインの活用)など、アジア圏の高校との交流の継続及び新規の交流校を開拓する。 	<p>B</p>

		<p>海外大学の指定校推薦制度の確立)</p> <p>6. 英検を中心とした英語外部検定の指導(対策)、及びオンライン英会話や英語学習アプリの活用促進に対する全面的バックアップ体制を確立する。(英語科と協力)</p> <p>7. グローバルコースの語学研修に関するサポート体制を万全なものとする。</p> <p>8. 大学の協力を得ながら第 2 外国語(中国語、韓国語、仏語、独語)を導入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語圏(欧米諸国)の交流可能な高校を開拓する。 ・ 留学生に対するサポート体制の見直しや日本語授業の充実及び自習室の確保など受け入れ体制を充実する。 ・ 海外大学進学(留学)説明会の実施及び海外大学の情報を収集する(進路指導部と連携)。 ・ 高校留学説明会を実施する。 	
広 報 情報発信	1. 優秀且つ適切な生徒数を確保する。	<p>1. 本年度入学生の分析</p> <p>2. 中学校との信頼関係の構築</p> <p>3. 高大一貫教育の成果と共学化及び 3 コースの特色を前面に打ち出し、中学 3 年生とその保護者に福岡大学の附属校である本校の魅力を訴求</p>	<p>1. 本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、一日体験入学・PTA 訪問・私学展・塾主催の学校説明会が中止となり、出前授業や進路説明会の減少、本校オープンキャンパスの Web 開催や人数制限、保護者説明会も人数制限での開催と、中学生や保護者へのアピールの機会が激減した。</p> <p>2. 新たな試みとしては、学校紹介 DVD の作成、学校案内(パンフレット)の改善、Web の活用、現中学 2 年生への学校案内配布、広報範囲の精査を行った。</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症での規制や集会や説明会等の開催が、減少傾向が続くと仮定した上で下記の項目を強化及び改善したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オープンキャンパスの開催月(9月と11月)を9月と10月に変更し、1回の開催を2日に増やす。 ・ PTA 来訪を斡旋(1 日体験は教育委員会の指示による)する。 ・ その他の説明会の開催を検討する。 ・ ICT 教育の充実をアナウンスする。 ・ 募集定員変更をアナウンスする。 ・ 附属推薦枠拡大をアナウンスする。 	B

令和2年度の事業計画・事業報告に対する学校関係者(保護者)評価

評価項目	学校関係者(保護者)意見	評 価
生徒の受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動は成績も上がり、男子生徒にも魅力ある活動ができています。公立を目指して塾に力を入れている生徒も多いので、上位クラス生徒の確保のために一般入試でも受験しやすい学校になるよう希望します。特進に合格できなかったらと思う不安から受験校を変えている生徒も多いのではないかと思います。 ・施設や設備に関しては古くても整備されているので問題ないと思います。広報に関してはアピールの場がオンライン主体になっているので受験生の心をつかむような内容が必要かと思います。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、色々と制限される中で、オンラインでの取り組みを活用して良く対応できていたと思います。 ・コロナの影響もあってか、昨年度は入試倍率が一昨年に比べかなり低迷したように思える(特にグローバルコース)。 ・学校の魅力向上…校内生活における安心・安全の確保とは…外壁補修や防球ネット工事も当たり前だが、校内においての充実はいかがなものか…。生徒数が増え、飲水の場所、質において、実際に先生方も飲んで実感して新しい飲み水おいしい飲み水のご用意をお願いします。(特に部活生徒に聞くと分かりやすいです。) ・高大一貫を売りにしているので人気は高い。 ・オープンキャンパスは素晴らしい内容や説明だと感動します。 ・昨年のオンラインでのオープンキャンパスはネットの申込みがすぐにいっぱいになってしまい、申し込むことができなかった、という後輩保護者の方がとにかく多数いらっしゃいました。今年もオンラインになる可能性が高くなると思いますが、なんとか申し込んだ方がオンラインでのオープンキャンパスを体験できるよう工夫していただければと思います。 ・教育環境の整備も進め、コロナ禍の中、オンライン等を活用しての広報活動をされていたように思います。 ・志を持った生徒が入学しており良いと思う。 ・新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、できることを工夫して実施できていると思います。 ・男女共学にして周囲の中学生の若葉高校への期待と人気は何えす。これを機会に、もっとより良くしていけるチャンスだと思います。井の中の蛙にならないよう、若葉の良い所は継続し、そのうえで変化を恐れず受け入れていけばと思います。 	<p>A… 8</p> <p>B…21</p> <p>C… 1</p> <p>D… 0</p> <p>無回答…1</p>
教育課程の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・他の学校よりも、若葉のグローバルコースに3年間通う方が充実しているということをもっとアピールするべきだと思います。塾の先生方にも授業内容などを詳しく説明された方が良いと思うことが以前ありました。 ・小論文指導講座を開始、はとでも良いことだと思います。3年生になって急に小論文を勉強するより1年生から慣れておいた方が入試時慌てることがないです。 ・グローバル教育の推進を全面的に打ち出している高校という印象であったが、オンライン英会話は年10回程度であり、英検に対しても特別に授業を組んでいるわけでもない。 ・生徒数増加やコロナ化に伴う教室配置や運用を適切に行ってもらいたい。密を避けるために窓を開けることはわかりますが、とても暑いと聞いています。授業効率を上げるためにも適切な対応をお願いします。④附属推薦のための小論文指導講座の開設などは保護者にも知らせて欲しい。 ・エレベーターを体育館へつけることも大切。ドアノブを握れるようにすると車いすにやさしい。新しい教育の型になり、これからその成果が表れるのではないのでしょうか。今後の生徒の成長が楽しみです。 ・一般入試で受けるための対策をもっとしてほしい。(課外もあるがそれが受験対策になっているのか?) ・コロナの影響で学校行事もほとんど中止となり、学校へ行く機会も少なかったのですが、参観や三者面談で授業の様子はある程度把握することはできました。コロナの影響を受けている間は学期ごとか1年に1度でも、今年度教育課程で力を入れているところ、取り組んでいること等、保護者に向けた連絡があれば助かります。 ・コロナ感染対策として、各教室や正門付近への消毒薬の配置等しっかりされているように思います。 ・コロナ禍で大変な中、やる気を落とさないように指導して下さいました。 	<p>A… 5</p> <p>B…16</p> <p>C… 9</p> <p>D… 0</p> <p>無回答…1</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで対面授業が出来なかったためオンラインに変更しましたが(仕方ないですが)直接の対面でないため、先生との関わりが減るなど心配でした(質問など)。 ・自然災害やコロナなどで今までのやり方から今の時代に沿った方法に変えていく必要があると思います。平常時でない時にも、子ども達が安心してしっかり学べる若葉モデルを作っていただきたいです。 ・教員へは全員タブレットが渡ったようですが、現在、オンライン授業が本当に充実しているかという点はまだ改善が必要に思います。学校側もコロナ禍で大変でしょうが、だからこそ思い切った改革が必要なのではと思います。 ・コロナ禍においてオンライン授業の充実やタブレットなどの購入推進が進んでおらず、ICT を活用した取り組みが非常に遅れていると感じました。教室をいくら充実させても学校へ行けなくなったら意味がありません。ハード面だけでなくソフト面での充実を改善していただきたい。 	
<p>進路指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての生徒が希望の進路に進めるようお願いします。 ・先生の能力にばらつきがあってはいけない。もっと的確に福大に進学できるよう日頃からの指導が求められる。 ・県内の大学でも指定校推薦枠のない学校も多く、あっても1~2名の枠しかない学校も多いのもっと充実してほしい。 ・オンライン中心が続くと思われそうですが、内容の充実をお願いしたいと思います。 ・次学年からは人数も多く高大一貫とはいえ、すべての生徒が福大へ進学できるということではないので、他大学を含む、さらなる推薦枠の確保に努めてほしいと思います。 ・きちんと真面目に日々過ごしている学生は福大に行けるよう指導されており良い。 ・新型コロナウイルス感染症の影響がある中でできる限り工夫して実施できていたと思います。 ・もう少し、一人一人丁寧に指導して頂きたいです。早め早めの指導をお願いしたいです。 ・保護者が学校へ出向く機会がなくなり、学校との関わり方が変化してきております。進路についてももう少し情報が見られる方法(プリントやネット掲示板)等で公開してほしい。 ・赤本などの大学入試資料について、東大や京大といった、とんでもないレベルのものはあるが、実際に見たいレベルのものの充実を望みます(首都圏)。 ・推薦枠が今後、もっと多くなることを望みます。 	<p>A… 5 B… 18 C… 7 D… 0 無回答…1</p>

※ 主要なご意見について掲載しております。

令和2年度の取り組みに対する学校関係者(保護者)評価

評価項目	学校関係者(保護者)意見	評価
教 務 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが教科に興味を持って学ぼうとするのは正直先生次第であると思う。そのような意味では魅力的な先生が多いように感じており今後も期待している。 ・シラバスは個人的には電子化より今までのタイプを望みます。比較する際には本の方が簡単に使えます。 ・3 学年になると受験勉強日々意識しながら学校生活をしている。その生徒にとって「日々の宿題の量の多さ」が問題です。しかも定期テストや模試前の宿題の量を考えると、宿題に追われて試験勉強の時間が少なくなったりと悪い影響。宿題の多少は試験のタイミングをみて裁量しては？ ・教科によってとてもわかりにくい授業があるらしい。教えることの難しさはあると思いますが、努力していただきたい。重点項目に「将来の職業を意識してー」とありますが、この時期に将来の職業を決めている生徒はごく一部だと思います。 ・行事なども大切であるが、授業も計画的に進めるよう対策をお願いしたい。 ・シラバスについて知らない方が多いと思います。閲覧の方法等、保護者に周知をお願いしたいです。ロイロノートは使いやすいと子どもに好評でした。入学式もなく休校から始まったのでとても助かりました。 ・全教室にプロジェクターとスクリーンを設置する工事が行われ、授業の多様性が進んだように思います。 ・毎日学業、体育を含め、やる気の出るカリキュラムだと思う。 ・先生方の授業内容の定期的な改善を指導していただきたい。 	A… 8 B…17 C… 4 D… 0 <small>無回答…2</small>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ教科でも先生方の個性があるとは思いますが、教科書は同じなのでテストの兼ね合いもあるので進み具合は同じがいいのではと思います。 ・大学受験に有利になる英検2級以上の取得に力を入れていただきたい。パソコン系の資格にもこれからは目を向けて欲しいです。 ・進路指導の先生がとても厳しくやさしい指導をして下さいました。おかげさまで子どもの未来が明るく照らされたのは若葉での3年間のおかげです。ありがとうございます。 ・大学入試については、子どもたちの間でも不安があるようです。まずは安心して受験に臨めるよう指導をお願いしたいです。 ・コロナ禍での大学説明会開催が厳しい中、これまでの若葉の進路進学実績を使ったノウハウで子どもたちを指導してほしいです。 ・多様化する入試状況の中、個々の個性を見極めて指導して下さいました。 ・難関私大以外も指定校推薦枠の獲得を目指していただきたいです。 	A… 4 B…19 C… 6 D… 0 <small>無回答…2</small>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生になり、多少子どもの個性を尊重することも大切だと思う。特に今から大人になっていく重要な時期であり、規則々でガチガチにするのではなく、そのような事をしなくても大きく逸脱することがない、レベルの高い学校を目指して欲しい。 ・生徒や保護者に改めて入学時の誓約書を確認してもらい、校則は守るのが当たり前で入学していることを認めてもらいたい。自立することは家庭でしっかりと指導してもらい、学校と家庭の結束を強めて下さい。 ・生徒と先生の信頼関係の構築に努めていただきたい。 ・学校周辺でも右側走行している生徒を見かけたことがある。苦情もあると聞くのでもう一度きちんとマナーの確認が必要。 ・マナー等比較的良い生徒が多いと思いますが、引き続きご指導お願いします。 ・友人・生徒会との連携も必要だと感じます。 ・懲戒指導も一定数いると聞きます。問題行動がある生徒はしっかり指導されているようですが、日常生活のマナー等の指導も必要に思います。 ・校内では皆よくあいさつをして良いと思うが、自転車マナーは少し危ない子もいると感じた。 ・学年主任・担任・その他大勢の先生方の指導により、転学や退学・不登校の問題に至らず、本人の自覚や家庭内での見直しにもつながり感謝しております。 ・SNSの使用、マナーなど保護者からも指導していきたい。専門委員会などの活動が保護者にも見えるようになるといい。 	A… 7 B…18 C… 4 D… 0 <small>無回答…2</small>
中退防止	<ul style="list-style-type: none"> ・親としても、子どもの変化には学校と一緒に注意していかなければいけないと思う。 ・「いじめ」は退学とか転校とか厳しい対応をとらない限り、陰でじわじわと広がり、手がおえなくなる。しかし「いじめ」をした者の家庭環境や本人が抱えている 	A… 6 B…21

<p>いじめ防止</p>	<p>悩みの解決を根気強く対応する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後の女子高生生活、女の子同士とは特に色々問題ありましたが強くなれたと思います。 この報告を拝見して知ったこともありました。我が子に関しましては、同じ出身中学の子もいない中、先生もクラスも楽しくて2年生になった今も、部活中心ではありますが、充実した学校生活を送ることができています。 コロナ禍の心的不安等もでてくると思うので、今後も生徒のシグナルを見逃さないようお願いします。 良いと思う。本当に楽しく3年間通学できた。 新型コロナウイルス感染症の影響で、通常とは違った学校生活(急な休みや行事の制限など)に順応できない生徒もいたことが考えられると思う。 クラスで一体感のある行事が行われなかったためか、男女間、統一感がなかったような気がします。 	<p>C… 2 D… 0 無回答…2</p>
<p>保健指導・ 特別教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> クラスマッチ実施から友人の優れた力を発見できたようです。冬頃からクラスがまとまり、勉強に向かう意識も高まってきたように感じます。 食堂が気になります。並ぶのも密、食べるのも密だと聞いていました。30分毎の時差利用等も加えてみたらいかかと思いました。 様々な行事が中止となり、しかたのない事であるが、とてもつまらない一年であったらう。二度とないこの時期の、様々な体験ができなかったことは、とても残念であるが、この様な時だからこそできること、感じることを経験して欲しいと思っている。その様な取り組みを検討して欲しい。 コロナウイルス感染症の対策については、ロイノートを使っていたり学校の授業以外にもご尽力いただきありがとうございます。 努力、工夫、柔軟な対応ありがとうございます。 コロナ禍の中でやはりマスクが有効だと思うのでマスクをきちんとしていない子が大声で話したりしていると聞くので、せまい教室の中では必要だと思う。もっと声かけしてほしい。クラスターになる前に出来る事をしてほしい。 新型コロナウイルスの感染症の影響で、たくさんの行事等が中止となり、規制もあり、特別な学校生活でしたが、それでも若葉高等学校は素晴らしい最高の時間を子どもに与えて下さったと思います。 ほとんどの行事に参加できないまま1年が過ぎてしまい、卒業までに1度でも体育祭に参加できるのか、修学旅行には行けるのか、保護者の間でも子どもたちの間でも不安な状況が続いています。何とか学校の方でも代替案等、検討していただければと思います。 体育祭は中止ではなく、生徒達にアンケートをとり、なんとか実行してほしい。生徒主体でどういう形なら体育祭を行えるのか。時間がないのであれば、夏休みを使う、とか。もっと議論の余地があると思われる。 コロナ禍での自宅学習、行事変更等が多かったにも関わらず、生徒が充実した学校生活を行えるよう、代替案を思案していただいて良かったと思います。 文化祭等は残念だったが、今後に期待。 去年の修学旅行が中止になったが、代替を考えていただき、良い思い出が出来たと思います。今年も体育祭が中止になったら、行事が通常通り実施できないことが考えられるが、実施できるタイミングを逃さず、できる限り通常に近い一年を過ごせるようお願いいたします。 コロナ禍の中で、感染症対策を行いながら子ども達の為に行事等を一部行っていたことに感謝いたします。 部活動の取り組みが見えてこない。部費の使い方、バスの利用、どのようになっているのか？ 	<p>A… 7 B…18 C… 4 D… 0 無回答…2</p>
<p>広 報 情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> まだまだコロナの影響あり、webの活用等、さらに検討が必要であると考えます。 HPをもっと充実させて欲しい。学校行事はほとんど中止になり、学校に行く機会も全くない状況なので、子どもたちがどんなキャンパスライフを過ごしているのか全く分からない。ブログなどで日々の学校生活をもっと発信してもらえないか。 これからは人数ではなく質に移行する必要があります。個性を伸ばしてあげてください。 ホームページ等でできるだけたくさんの情報を発信していただきたいと考えます。 広報活動を行う場が制限される中、webの活用等、情報発信に努めてあるように思います。 オープンキャンパス以外ももっとメディアに出ても良いと思う。 中学校等での説明会では学校の顔として発言することになるので、特に気を付けられた方が良いと思いました。 他校例では生徒や保護者向けの学校アプリがあり、欠席や遅刻の連絡、スケジュール変更のお知らせ、悪天候時の通学時の連絡など保護者が時間を見計らって事務局に連絡する必要がなくなれば良い。 	<p>A… 7 B…19 C… 3 D… 0 無回答…2</p>

※ 主要なご意見について掲載しております。